

会派のメンバー6人でまちに出て区民のみなさんとの「対話」から、区政への要望をお聞きしました。多くの方に立ち止まっていたいただき、たくさんのお声を聞くことができました。不定期で行っていきますので、見かけたら気軽にお声をおかけくださいね。

活動報告



次のようなお声を聞きました。

- マイナンバーのトラブルは心配だ。
- 紙の保険証の廃止はやめて欲しい。病院側も困る。
- 公園が増えたのは良かった。
- お年寄りが安心して平和に暮らせる社会にしたい。
- 区議会だよりは知っているし読んでいます。
- 電気代や物価が高くなった。
- 新しい女性区長に期待している。
- 外国の方が増えて来たので、多文化共生できるようにしてもらいたい。

7月21日(金)「ありえん!インボイス@池袋西口」のリレートークに参加し、インボイス制度の不合理さを訴えました。

第2回定例会においても、「適格請求書等保存方式(インボイス制度)の実施延期を国に要望することを求める請願」が出されました。「立憲・れいわ」は、署名議員にもなり採択に賛成しましたが、賛成少数にて不採択となりました。私は、インボイス制度については勉強会も開き、窮状を訴える区民(フリーランスや小規模事業者)の声を聞き、これまでも一貫して反対しています。

みなさんからのご意見を議会活動に活かしていきます。ハガキかメール、フォームよりお寄せください。



◀フォームよりお届けください

郵便ハガキ

171-8422

おそれ切手貼る。を貼る。を貼る。を貼る。

豊島区南池袋2-45-1
豊島区役所9階
(立憲・れいわ・市民の会 控え室)

豊島区議会議員

塚田ひさこ行き

あなたご自身について
(差し支えない範囲でお知らせください)

お名前

ご住所

メール

年齢

ご職業

「塚田ひさこの区議会ニュース」を送らせていただきます。

information

区政報告と区民のみなさんからのお声を聞く「おしゃべり会」を、塚田ひさこ事務所(目白)や区民センターで、定期的に行なっています。ぜひ、ご参加ください。

■2023年8月27日(日曜日)
15時~17時
@塚田ひさこ事務所(目白)
「塚田ひさこのおしゃべり会」
*第2回定例会の報告と予算要望など

■2023年9月30日(土曜日)
13時半~16時半
@としま区民センター キッチンルーム
「塚田ひさこのおしゃべり会」
*他にも、勉強会や区政報告会のお知らせは、塚田ひさこのHPやtwitterで発信します。

議会スケジュール

令和5年第3回定例会(9月20日~10月26日)
・請願、陳情受付締切(9月14日17時)

「区民なんでも相談会」を毎月やっています!

●毎月第3木曜日13時30分~16時
「立憲・れいわ・市民の会」(区役所9階)においでください。
*議会日程の都合により開催できない場合もあります。ご了承ください。(なるべく事前にご一報ください)

〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1豊島区役所9階
(立憲・れいわ・市民無の会 控え室)

電話 03-4566-2956

メール tsukada@toshima.site



立憲
れいわ
市民の会

塚田ひさこの
としま区議会ニュース

2023年
02号

発行日: 2023年7月25日
発行: 立憲・れいわ・市民の会 発行責任者: 塚田ひさこ
連絡先: 〒171-8499 豊島区南池袋2-45-1 豊島区役所9階(立憲・れいわ・市民の会 控え室)
電話: 03-4566-2956
塚田ひさこ事務所: 豊島区目白2丁目18-15-411 電話&FAX: 03-6914-3140

【所属委員会】区民厚生委員会、行財政改革調査特別委員会(委員長)、豊島副都心開発調査特別委員会
男女共同参画推進会議、女性活躍推進協議会、都市計画審議会、土地開発公社評議員、議会運営委員会、
広報編集委員会、区政連絡会5地区 常任相談役(目白・雑司が谷・高田地区)
【プロフィール】1962年香川県高松市に生まれる。香川県立高松高校、成城大学文学部卒業。
1986年サントリー(株)勤務を経て、出版社にて雑誌・書籍編集、企画制作会社にて企業や公的イベント
のIT広報に従事。2005年~憲法と社会問題を考えるウェブマガジン「マガジン9」に参画。
2019豊島区議会議員初当選。2022れいわ新選組所属。2023年2期目当選。

WebSite: <https://toshima.site/> 『チャコの区議会物語』 <https://maga9.jp/category/chako/>
E-mail: tsukada@toshima.site Twitter: [hisakotsukada9](https://twitter.com/hisakotsukada9)



2期目がスタート
しました!

こんにちは、塚田ひさこです。

みなさまのお力添えで、2期目も豊島区議会におくっていただきました。2506票(36人中13位)もの区民の方が、「塚田ひさこ」の名前を書いてくださったことには、本当に身の引き締まる思いです。

豊島区政初の女性区長が誕生し、区議会も新しいメンバーが入り、変化の時を迎えています。複雑化する地域の課題を解決するためにも、行政と議会の多様性が、求められているのだと感じます。

格差が広がり固定化するポストコロナ社会において、「公」の役割は大きく、より一層の福祉の充実が急務です。

これからも「誰ひとり、とりのこさない、としまのまちづくりへ」のために。みなさんのお声を聞きながら、しっかりと政策提言を行なって参ります。

会派「立憲・れいわ・市民の会」を結成しました。

「二元代表制の一翼を担う区議会の責任ある会派として、行政の追認機関ではなく、チェック機能、政策提言、議会改革の責務を果たすべく、所属議員の英知を結集し、常に区民の側にたち、区民の利益を最優先し活動するための政策集団」として活動することを全員で合意し、それぞれが協定書も結びました。



メンバーは右から、さくま一生、宮崎けい子、塚田ひさこ(副幹事長)、川瀬さなえ(幹事長)、西崎ふうか、中山よしと、の6人です。

自民党豊島区議団、公明党に次ぐ第3会派となり、議会運営にも責任のある立場となりました。初年度の今年は副幹事長の重責を担い、4年の議会の枠組みを決めていく重要な会議にも出席しました。深夜に及ぶ会議や交渉が数日続くことも…。どんな「議論」が行われていたのか?なども区政報告会などの機会を捉えまた皆さんにお伝えしていきたいと思っています。議会改革の必要性、透明性を強く感じています!



議席番号は20番。常任委員会(区民厚生委員会)。区民の福祉・生活に直結するマイナンバー制度や介護保険改定に関する議論・審議にしっかりと臨みます。また、「行財政改革調査特別委員会」は委員長として、各委員の活発な議論が展開できるよう公平な運営に務めます。先進事例の研究調査の提案にも、積極的に取り組みます。

【第2回定例会・注目政策】

*一般会計の補正予算(第4号:35事業、1,836,683千円)が議決されました。そのうちの注目事業を取り上げます。

要望が実現! 「小中学校の給食無償化」

豊島区においても、今年9月より、区内全ての区立小・中学校において、給食の無償化が行われることになりました。

「学校給食の無償化」については、前期より所属会派、また議会からも強い要望が上がっていましたが、この度、新しく就任となった高際区長の選挙公約にもなっておりますので、

早々に予算化されました。南池袋小学校では、給食室改修が行われるため、給食停止期間があります。ここにかかる支援として、学校側が民間事業者の提供するお弁当を用意しますが、ここについても無償化となります。

これまで要望を続けてきた、「給食の無償化」がまずは今年度の実現できて、ほっとしていると同時に、来年度以降も、「給食無償化」が続けられるよう、引き続き要望も続けて参ります。

事業費:444,386(千円) /内訳:小学校 324,734千円 中学校 119,652千円
対象者は、区立小学校22校、区立中8校に通う、約11,930人

「無償化になっても高い品質維持を!」

本区の学校給食は、全ての公立小中学校において、各校に調理場を設置している自校方式です。週のうち4回を米飯給食にしていることも、評価できます。無償化になっても、これまで通りの「安心して美味しい学校給食」の提供や、環境にも良い学校給食の検討を求めます。(2021年第2回定例会の一般質問でも、学校給食について取り上げました)



一般質問をはじめ、塚田ひさこの議会での発言をこちらで見ることができます▶



子どものSOSを見逃さない! 「としま子どもの権利相談室の設置」

千登世橋教育文化センター内に、「としま子どもの権利相談室」が新たに設置。「豊島区子どもの権利に関する条例」を踏まえ、子どもの権利を守るため作られます。いじめや体罰、虐待などの問題について、子どもの意見をちゃんと聞き、子どもの気持ちに寄り添いながら、子ども自身が本来持っている力を十分に発揮できるように、問題解決に向けた支援をします。

対象は、区内在住、在学、在勤のおおむね18歳未満の子ども。(権利侵害にかかることなら大人からの相談も可)。こうした相談を受けるのは、

子どもの権利相談員です。弁護士や臨床心理士からなる子どもの権利擁護委員と連携しながら、救済に向け調整をします。

まずは入り口として、子どもがみずからも安心して相談室に行ってみようと思えるような、工夫や配慮も必要になるでしょう。そして「相談室」の存在を、こどもたちに知ってもらうことも重要です。

なお、重要な役割を担う子どもの権利相談員は、今年度は会計年度任用職員の配置(2名)ですが、私たちの会派では正規職員化を求めています。

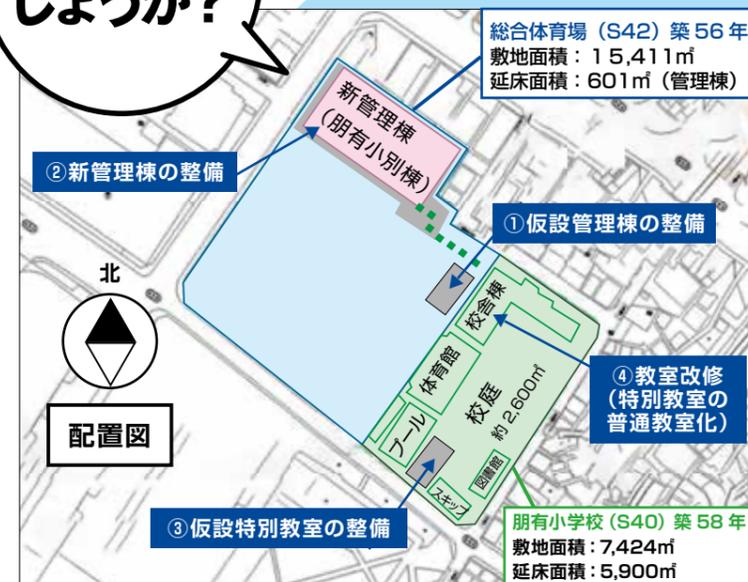


《としま子どもの権利相談室》
場所:千登世橋教育文化センター1階教育センター内(雑司が谷3-1-7)
開設:令和5年9月~
開設時間:火曜日~土曜日:10時~17時45分
(*祝日、年末年始は除く)

ご存知でしょうか?

区民参加のまちづくりを!

●総合体育場管理棟・朋有小学校別棟 複合施設整備事業が示されました。



かねてより、老朽化した総合体育場管理棟の改築の議論があり、いくつかのプランの提案がありましたが、第2回定例会の補正予算で、総合体育場複合施設の整備事業の設計費など2.9億円が計上、内容について区より示されました。

二転三転してきた管理棟の設計案ですが、管理棟の1階に朋有小学校の別棟機能(特別教室)を持たせることは、今回初めて議会に示されたことです。

この計画変更の背景には、朋有小学校ではこの5年間で103名の児童が増加。さらに今後4年間で82名の児童数増加が見込まれて、今のままでは普通教室を確保することが困難であることから、今回の変更になったとのこと。

子どもの学びのための教室が確保できない事態は、あってはならないことなので、計画変更も致し方ないことだと議会での承認もされました。しかしながら、もう少し余裕のある学校施設計画を考えるべきではないでしょうか?

小学校の別棟整備が行われるのは、既に工事が進んでいる高南小学校、計画のある南池袋小学校、朋有小学校です。区内においても大型マンション建築などにより児童数が増えている地域です。このように民間の大型開発は、まちの景観だけでなく、教育や福祉といった行政サービにも大きな影響を与えます。また示されたスケジュールによると、2年半の間、テニス、弓道場、卓球場が工事のため使用不可となります。ここでは、多くの区民サークルのみなさんが、活動を楽しんでいます。その間の代替施設がどこになるのか、利用者への説明も求められます。

なるべく早い段階での情報の提供や区民の方への丁寧な説明をする必要がある、というのはこれまでも繰り返し要望をしてきたことです。公共施設を新しくつくる際には、地域の声、特に子どもや女性の声を入れるべきです。これらについては、引き続き要望をしていきます。

新管理棟整備の概要

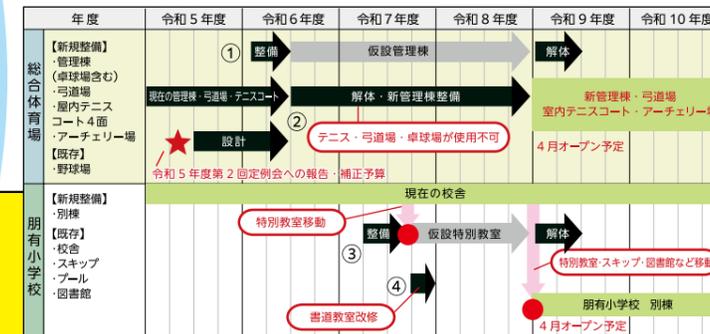
■施設内容 敷地面積:15.411㎡(総合体育場)、延床面積:8,100㎡(2,700㎡×3層、鉄骨造)

施設	機能
3階 テニスコート	屋内テニスコート4面
2階 総合体育場管理棟	弓道場、卓球場、アーチェリー場、事務室、更衣室、シャワー室、会議室、倉庫など
1階 朋有小学校 別棟	家庭科室、図工室、理科室、音楽室、学習情報センター、子どもスキップ、多目的室
その他	駐車場、駐輪場、EV、トイレ

■事業費 新管理棟事業経費:約62.4億円(工事請負、仮設はリース整備)
※令和5年第2回定例会補正予算:約2.9億円(設計費、債務負担含む)
※令和6年度当初予算:約59.5億円(工事費、債務負担含む)

スケジュール(案)

*①~④は、左ページ配置図に対応



本区では、老朽化がすすむ公共施設は順次、大規模改修や改築を行っていますが、地域への住民説明会の機会が少ないと感じます。ほぼ完成したプランを示すよりも前に「どんな公共施設があったらいいのか?」を、地域住民から聞き取るプロセスも必要です。「千登世橋教育文化センター」においても、再整備計画の検討が進められているとのことですが、プランが決まってからの「説明会」ではなく、もっと住民参加の「まちづくり」ができる仕組みを求めます。



もっと地域の声を、聞く機会を!

皆さんからのご意見を議会活動に活かしていきます。

「塚田ひさこの区議会ニュース」で気になった項目に☑してください。

- 会派「立憲・れいわ・市民の会」を組織しました
- 区民参加のまちづくりを!
- 小中学校の給食無償化
- としま子どもの権利相談室の設置
- 活動報告&区民相談

関心のあること(複数回答可)

- コロナや感染症対策
- 労働(雇用や賃金について)
- 地域の防災や安全
- 食の安全
- 教育
- 子育て
- 税金
- 憲法、平和、人権
- ジェンダー
- 市民参画
- 多文化共生
- 都心低空飛行問題
- 環境(脱炭素への取り組みやグリーンリカバリー政策)
- 文化政策
- その他()

区政への提案・要望など、ご自由にご記入ください。